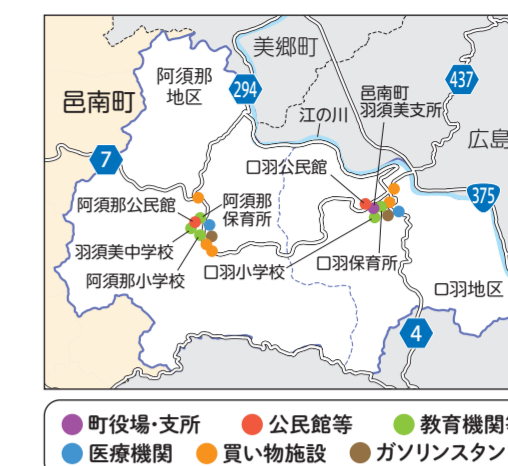
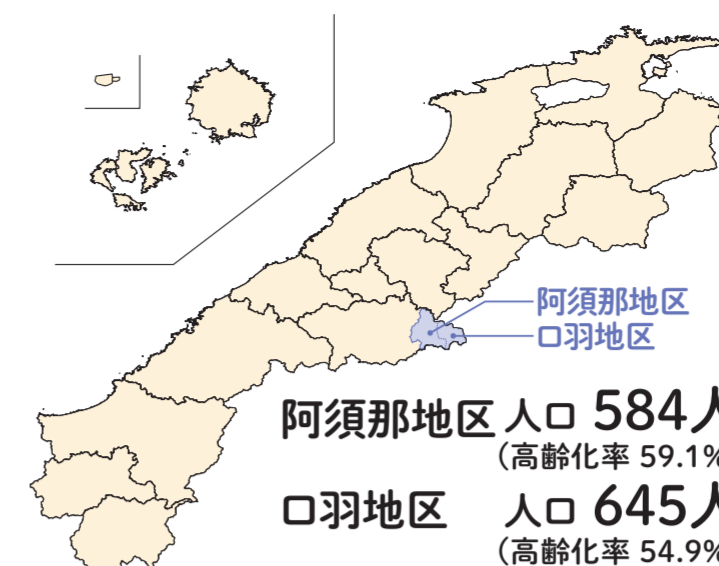




あすな くちば 邑南町阿須那・口羽地区

阿須那と口羽が手を取り合ってつくる「はすみの村づくり」



地区紹介

- ・阿須那地区と口羽地区は平成16年の邑南町合併まで「羽須美村」という地域でした。
- ・地域の人口減少や若者の流出など地域活動の担い手の確保が課題となる中、重要な公共交通機関である三江線の廃線が決定。
- ・両地区で同じ危機感を共有し、力を合わせ「デマンド交通」を開始。両地区が一体となって、生活を支える取組が進んでいます。

私たちのやり方

Our Project

地域をつなぐ
有料デマンド型
送迎サービス
「はすみデマンド」



「NPO はすみ振興会」が利用者から予約を受け、ドアツードアで自宅から羽須美地域内の目的地まで送迎する「はすみデマンド」。
各自治会からドライバーを出し合い、それぞれが登録した自家用車を使って運行しています。利用者は事前に回数券を購入し、乗車する際にドライバーへ渡します。利用目的の8割以上が通院のため、利用者にとって欠かせない交通手段となっています。

Background これまでの地区のあゆみ

阿須那地区

口羽地区

H16 平成の大合併 / 羽須美村と瑞穂町と石見町が合併し邑南町が誕生 H16

H20 県の中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクトのモデル地区に選定(H20~22)

「YUTAかプロジェクト」を設立

阿須那地区の4つの自治会が集まって設立した地域運営組織
高齢者サロン「よりんさいや」の運営や、JAから阿須那給油所の運営を受託(R2~)している

「口羽をてごおする会」を設立

口羽地区の活性化のため設立した地域活動団体
高齢者サロン「悠遊サロン」の運営や、町有施設「はすみ交流センター」の指定管理を受託している

H28 「交通を考える会」を設立 / JR三江線の廃線が決定し、地域住民による検討組織が立ち上がる H28

H30 JR三江線の廃線 H30

「NPO法人はすみ振興会」を設立 / 「交通を考える会」から発展し、両地区の住民の移動を支えることを目的とした法人を立ち上げ

「はすみ会議」を設立 / 両地区の住民で構成する、地域活動内容等の意思決定を行う

H31 デマンド交通「はすみデマンド」を運行開始 / NPOはすみ振興会が実施する予約型の送迎サービス H31

「あすな地区応援隊」を設立

「はすみ村づくり計画」を実行する組織を立ち上げ、阿須那地区住民の生活を支える活動を実施している

R3.3 「はすみ村づくり計画」策定
「解決したい課題」「課題解決に向けた取り組みの方針」「5年後(2025年)に目標とする成果」の3つを柱とする計画 R3.3

今後の計画 Our Planning

1. 地域総合事務所の体制構築

- 小さな拠点づくりに向けた計画の策定及び推進

2. いつまでも安心して暮らし続けられる環境づくり

- 「暮らしのターミナル」を整備(デマンド交通や地域住民の拠点等)
- 交通システムの開発

3. 出身者としてしっかりつながってU・Iターンを増やす仕組みづくり

- 「はすみ新聞」の発行やSNSの活用
- 移住相談窓口の設置 ● 関係人口拡大に向けた取組

4. 集落や自治会を超えて助け合う体制づくり

- 地域団体や自治会の役員など人口に見合わない数の「役」を見直し

